

令和6年度 第四中学校区グランドデザイン

〈市のめざす社会像〉

多様な人々と協働しながら、一人一人が活躍し、安全で安心して豊かに暮らせる社会

〈市のめざす子ども像〉

人や社会とつながり、学び続け、よりよい自分と社会を創る子ども



第四中学校区のめざす子ども像

今の課題に向き合い、未来をよりよく生きる子ども
～今と未来を生き抜く「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな心身」～

育みたい4つの力（社会参画力）

いやす力

学ぶ意味をとらえ学んだことを社会にいかす力

・みらい力

かながえる力

社会の中から課題をとらえ解決する力

・課題設定力
・実行力
・ふり返り力

つながる力

人や社会に働きかける力

・コミュニケーション力
・協働力
・発信力

じりつする力

矛盾や困難を乗り越えじりつして生きていく力

・じりつ力
・推進力
・持続力

中期的な中学校区の経営ビジョン

■教育課程の再整理と質的改善

- ◇資質・能力の向上につながる人権教育の実現
 - * 授業改善からのアプローチ
 - * 小中一貫教育からのアプローチ
 - * 個別の人権課題研究
- ◇生活科・総合的な時間「いまとみらい」の再構築
 - * 「教科との関連」の明確化
 - * 「探求活動の過程」の明確化
 - * 「考え方の技法」の明確化
 - * 「本校区ならではの題材」の充実
 - * 「SR-PDCA」の再認識

■教職員の資質向上

- ◇授業改善
 - * 授業技術の習得
 - * 単元を見通した指導の設計
- ◇人権感覚の醸成
 - * 教職員研修の充実
 - * 「地域に学ぶ」姿勢の確立

■地域連携のさらなる推進

- ◇地域資源の活用
 - * 子どもの学びに直結する人材との出会い
 - * 新たな資源開発
- ◇ともに歩む連携の模索
 - * コミュニティ・スクール導入に向けた準備

今年度の中学校区の教育目標と重点取組

校区の教育目標

今の課題に向き合い、未来をよりよく生きる子どもの育成

今年度の重点取組

■資質・能力の向上につながる人権教育の実現【第四中学校区】

- ◇調査研究のテーマ
 - 学ぶ意欲をもち、前向きに学習に向かう子どもを育む授業づくり
- ◇研究仮説
 - 子どもたち一人ひとりが大切にされた教育活動（充実した人権教育の実現）は、豊かな心を育み、確かな学力の向上につながる。
- ◇実施方法
 - 「一人ひとりの子どもを大切にする授業」をめざした授業改善の模索
 - ア) 学びが深まる学習形態の工夫
 - * 解きたくる問い * 達成感のある活動 * 仲間との協働
 - * 板書の工夫 * 既習事項の活用 * 学習形態の工夫
 - イ) 生活科・総合的な学習の時間「いまとみらい」の再整理と質的改善
 - * 教科との関連 * 探求活動の過程 * 考え方の技法
 - * 本校区ならではの題材（人権・地域・キャリア教育…）
 - * SR-PDCA の再認識

学校安全の取組

◇安全教育の推進

- ・「生活安全」「交通安全」「災害安全」に関わる学習内容の整理
- ・避難訓練の充実

◇安全管理の徹底

- ・「校内施設」「通学路」「校区内の危険地点」のていねいな点検

四中校区の連携

- * ゆめみらい学園の連携による研究推進（富田小・赤大路小・第四中）
- * 四中校区教育連携会議「つなぬく」による連携
（富田小・赤大路小・第四中・富田認定こども園・北昭台保育所・阿武野高校・富田青少年交流センター・地域アドバイザー）



地域・家庭

- * 多様な子育ての価値観
- * 顕在化する経済的・文化的格差
- * 住民同士の結びつきの少なさ

教職員・学校

- * 経験の浅い教員の多さ
- * 教育課題の多様化・複雑化
- * 以前からの取り組みの形骸化

児童生徒

- * 顕著な学力の二極化
- * 自尊感情の低さ
- * 主体性・積極性の低さ